



初目の体育館



搬入・仕込み開始



仕込み 70パーセント

照明・音響チェックが始まります

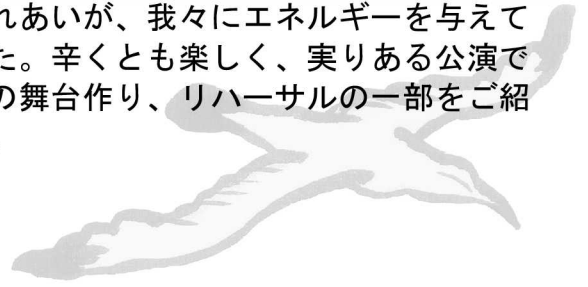


完成

# カミキリ飛ぶことも 教えた苗

3年目を迎えた“本物の舞台芸術体験事業”を無事に終えることができました。

とても厳しいスケジュールでしたが、子どもたちとのふれあいが、我々にエネルギーを与えてくれました。辛くとも楽しく、実りある公演でした。その舞台作り、リハーサルの一部をご紹介します。



平成19年度

本物の舞台芸術体験事業（学校公演）

- 10/ 2（火） 伊勢市立二見小学校
- 10/ 3（水） 津市立高岡小学校
- 10/ 4（木） 田原本町立北小学校
- 10/ 5（金） 天理市立二階堂小学校
- 10/ 9（火） 大阪市立扇町小学校
- 10/10（水） 大阪市立東粉浜小学校
- 10/11（木） 奈良市立鼓坂小学校
- 10/12（金） 奈良市立青和小学校
- 10/15（月） 奈良市立伏見南小学校
- 10/16（火） 富田林市立伏山台小学校

体育館が劇場に変わります





学校公演は10時開演が多く、リハーサルは9時前から始まります。

「おはようございます」子どもたちの元気な声と輝く瞳が、役者たちの体を目覚めさせます。

### 序幕 — カモメのシーン —

「どこまでも続く空、どこまでも続く海、ふたつの青はいつかどこかでひとつにとけあうのだろうか。」

子どもたちと語るこの台詞で物語は始まります。



子どもたちが作ったカモメ



劇場となった体育館でのリハーサルに子どもたちは夢中になります

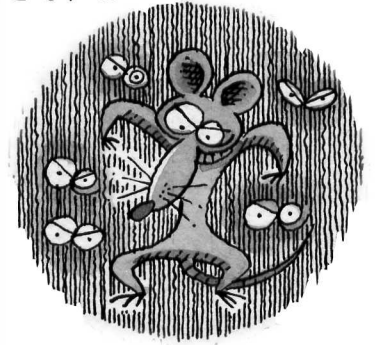




## 2幕 — ネズミのシーン —

子どもたちは猫と対立するネズミに扮します。側転、横転で登場した子ネズミたちは、主役の猫“ゾルバ”との対決を通して、ネズミの立場を主張します。

学校によっては子ネズミが20名を超えるときもあります。大きな声が体育館に木霊します。



表情豊かに友達の演技を見つめます。

1幕、猫の大佐が演説するシーンにも子どもたちは参加しています。『百科事典』と言えない大佐につっこみを入れたり、死んでしまったカモメとの惜別の歌を歌います。残念ながら画像はありませんが猫に扮する子どもたちの工夫など、とても微笑ましい場面です。

振り返ると公演はあっという間に終わってしまったように思います。またこういう機会が訪れることを役者たちは楽しみにしています。



## 感想文



- ★みんなでささえたりみんなでももったから、フォルトウナータはさいごととべたんだね。やったー。 1年生
- ★一番こわかったところは、かもめのいっぴきが黒い波に流されたところがこわかったです。 3年生
- ★かもめのお母さんは、自分の命をかけて、たまごを守ってすごいと思いました。 4年生
- ★今日初めてげきを見たのでびっくりしました。体育館に入ったら体育館だとわかりませんでした。げきをずっと見てもぜんぜんあきませんでした。 4年生
- ★みんな、げきではなく、本当の話のようでした。 5年生
- ★私たちはできる限りの大きい声でねずみの役を演じました。本物の役者さんを前に、堂々と演じられたのがすごくうれしかったです。 6年生
- ★今日はいっしょに劇ができて、とても楽しかったです。今日、ぶたいに出て、劇団の人のとなりに立っているときに、いちばんきんちょうしました。機会があればもういちどいっしょに劇がしたいです。 6年生



### 東京公演決定！

2008年4月25日(金)～28日(日)  
全労済ホール/スペース・ゼロ

4月25日(金) 18:30  
26日(土) 14:30, 18:30  
27日(日) 14:30